

「当薬局グループにおける要指導医薬品・第一類医薬品とセルフメディケーション税制対象医薬品の販売状況調査研究」

白石貴裕 1) 福永雅史 1) 下川希世 1) 園田恵菜 1) 山下力 1) 筑紫聡 1)
下川隆志 1) 野田千里 1) 山下尚子 1) 岡田幸二 1)

1) 株式会社 ユネット 清風薬局

【目的】当薬局グループ 7 店舗で販売している要指導医薬品、第一類医薬品と明細・領収書発行が必要なセルフメディケーション税制対象医薬品(以下スイッチ OTC と記載)の販売状況を統計・分析して、地域住民の医療ニーズの把握と今後、健康サポート薬局としてセルフメディケーションを推進する上での問題点を抽出し解決策を見出す。

【方法】1.当薬局グループでは医薬品医療機器等法で義務付けられた要指導医薬品・第一類医薬品販売履歴をマイクロソフト・エクセルを用いて記録・保存している。

2.1.の記録簿にスイッチ OTC 購入時、明細・領収書が発行できる機能と購入者の年代、性別、一定の取り組みの項目(保険者が実施する健康診査、市町村が健康増進事業として行う健康診査、予防接種、勤務先で実施する健康診断、特定健康診査、市町村が実施するがん検診)を付加する。

3.スイッチ OTC 購入者から依頼があった場合、付加した情報を入力し、明細・領収書を発行する。

4.当薬局グループ 7 店舗の要指導医薬品・第一類医薬品販売履歴簿・明細領収書発行情報を集積し、患者プロフィール、購入医薬品等を分析する。

【結果】期間：平成 29 年 1 月 1 日～平成 30 年 12 月 31 日、要指導医薬品、第一類医薬品とスイッチ OTC の販売件数(数量ベース)：5365 件、スイッチ OTC の販売件数：4863 件、スイッチ OTC 販売率：86.3%、領収書発行件数：11 件、領収書発行店舗数：2 店、患者数：2 名、年代：50 代～60 代、性別：女性、一定の取り組み：保険者が実施する健康診査、予防接種、勤務先で実施する健康診断、領収書発行率：0.4%

【考察】当薬局グループで販売している要指導医薬品、第一類医薬品とスイッチ OTC の中、大部分がスイッチ OTC であることが分かった。しかし、明細・領収書を希望する患者は少数特定の中年女性で、購入医薬品は NSAIDS 内服薬やパップ剤であった。領収書を発行するに当たり実施した一定の取り組みは、健康診断や予防接種で、健康に対する意識が高いものと思われる。今後このような患者を増やすために、セルフメディケーション税制の啓発活動を行い、領収書の発行率を上げることが重要だと思われる。

【キーワード】「セルフメディケーション税制」「スイッチ OTC 医薬品」